



発行所
 太平山頂上鎮座
 太平山三吉神社総本宮
 宮司 田村 泰 教
 秋田市広面字赤沼3の2
 電 話 (018) 834-3443
 F A X (018) 834-3444
<http://www.miyoshi.or.jp>



第52回全国神社総代会 正式参拝（9月27日）

「終わり良ければ全て良し」とは言うものの、年の瀬は一年の締めくくりと新年を迎える準備で・こ・舞い。師走の名の通り、慌ただしく時が流れる。▽明けて新春。年神様をお迎えるお正月は、特に我々日本人にとって特別なハレの時期。門松・注連飾り・鏡餅・おせち・お年玉・初詣：新年を寿ぐとともに、ケガレを祓い、新しい年の神様から生命力を頂いて、活気ある充実した暮らしを送るための大切な意味が、それぞれに込められている。▽ライフスタイルが多様化し、年末年始仕事で休めない方も多い。お正月くらいは家族揃ってゆっくりしたいと思っても、それが難しいのが忙しない今の時代。▽しかし「一年の計は元旦にあり」。せめて年の始めのどこかで、無事に年を越し新春を迎えられたことを、共に喜び感謝しながら、一年の過ごし方に思いを巡らしたい。

宮司 田村 泰 教

年末年始主祭事日程表

- 十二月三十一日(土) 午後二時 師走大祓式
- 一月 一日(日) 午前零時 歳旦祭
- 一月 十七日(火) 午前六時 梵天祭
- 一月二十九日(日) 午前十時 どんと祭

全国神社総代会

九月二十七日(火)、第五十二回全国神社総代会が秋田市で開催されるに伴い、同日同総代会副会長大森一人様、神宮大宮司鷹司尚武様、神社本庁総長田中恆清様、神道政治連盟会長打田文博様を始めとする総代会役員の皆様にご参拝を賜りました。

またそれに前後して、滋賀県神社総代会・大阪府神社総代会・静岡県神社総代会・山口県神社総代会・佐賀県神社総代会・宮城県神社総代会連合会・兵庫県津名郡神社總代会・愛知県神社総代会連合会・千葉県神社総代会・青森県神社総代会連合会・神奈川県神社総代会と大変多くの総代会様に正式参拝を戴き、時間が無い中ではございましたが、当社特殊神事三吉梵天祭にまつわる梵天唄『三吉節』や秋田民謡を、三吉節保存会進藤義声会長以下会員の皆様にご披露頂きました。

※お写真のある総代会様のみ掲載させて頂きました。



山口県



静岡県



大阪府



愛知県



宮城県・兵庫県津名郡



佐賀県



神奈川県



青森県



千葉県

完全閉鎖

太平山頂上

太平山は十一月一日初冠雪を迎え、十一月九日、山頂の山小屋も完全に閉鎖となりました。

これから暫くは雪と氷に覆われて、人を寄せ付けない厳しい季節となります。登山は明春の雪解けを待ち下さい。



太平山初冠雪

言挙げ 59

地域の食文化と伝統行事

権祿宜 原 田 憲 幸



私の故郷の庄内地方では「大黒様のお歳夜」という行事が伝わっています。また、この日は大黒様が大黒様の妻であるという説があります。

餅をたたらふくごちそうになり、家に帰る途中腹痛をおこして、川端で大根を洗っていた嫁に「一本下さい」と頼みましたが、嫁は姑から大根の本数を数えて渡されているので、あげることができず困りましたが、大根の中にあつた、まっか大根（二股大根）の一方をかき取ってあげました。大黒様はもらった大根で腹痛を治すことができたので、たいそう喜ばれました。という話が伝わっています。



まっか大根（二股の大根）

せんが、節目の行事の時くらいは家族で団欒し、共に行事を経験することは、子供の心身の成長にも好ましいことであると思います。昨今の特に若年層の人心の荒廃は悲しいものがありますが、その原因は家庭環境である事も少なくない様です。

これから先、益々過疎化が進むであろう地方都市においては特に若い世代の力が必要になってきます。若い人達が日本の伝統に誇りを持ち、郷土を愛せる人に育っていつてくれることを願っています。その手始めに郷土の食文化を見直してみても如何でしょうか。

す。これは十二月九日に行われるもので、家庭によって若干の違いはあるかもしれませんが、納豆汁、黒豆なます、豆腐田楽、鯛田楽、炒り米や炒り豆、まっか大根（二股の大根）を床の間に飾った大黒様にお供えし、同じ物を家族で食べます。時期になればスーパーなどではお歳夜の為の材料や、お惣菜が並びます。他にも御神酒や財布を供える風習もあるようですが、私の家では御神酒や財布は見たことがありませんでした。

大根や豆・鯛の料理を供える事は豊作と子孫繁栄の願いが込められ

日本には地域毎に多様な食文化があり、その土地の気候風土とそこに住む人々の歴史の中で育まれてきました。それらを古臭い・田舎臭い物と敬遠しがちな今の世の中は、偏食や孤食が問題となり、食育が叫ばれ出しました。食育には栄養バランスの改善だけでなく、子供の人格形成や郷土理解といった点も含まれているそうです。

旬の食材は安くて栄養価も高いと聞きます。それらを調理した四季折々の郷土料理は健康に良いものも多いはず。現代は毎日家族全員で食卓を囲む事は難しいかもしれま

奉納者ご芳名

○お銚子 三十六本
加賀谷和子様



みよしスケッチ

秋季例大祭 (十月十六日・十七日)

多数のご参列を頂き、厳粛に肅行いたしました。



松聖会 (九月二十八日)

伝統ある山伏の集まりである出羽三山神社松聖会の皆様に参拝頂きました。



閉山祭 (九月十七日)

多くの神人奉仕により、本年も御神体を奥宮より里宮に遷御いたしました。



三吉節全国大会 (九月十七日)

佐藤富一氏(にかほ市)が優勝されました。



印章供養祭 (十月一日)

古い印鑑や表札を供養し、印章塚に納めました。



人形感謝祭 (十月一日)

愛着ある人形に感謝し、お焚き上げ神事を行いました。



みよしスケッチ



七五三詣
多くのお子さんと境内は賑わいました。

七五三詣



歩こう会
秋晴のもと、三直熊野神社・本念寺等をまわり、約十一キロを歩きました。

歩こう会 (十月十三日)



園児お茶会
手形山幼稚園の園児五十二名をご招待しました。

園児お茶会 (九月二十九日)



梵天打合せ会
明年の三吉梵天祭の打合せを行いました。

梵天打合せ会 (十一月十八日)



村梵天代表者懇談会
明年の村梵天奉納について話し合いを行いました。

村梵天代表者懇談会 (十一月四日)



大麻・曆頒布始祭
新年の神宮大麻、曆の頒布始祭を行いました。

大麻・曆頒布始祭 (十二月五日)



自衛警備隊総会
梵天祭の作業について話し合いを行いました。

自衛警備隊総会 (十二月十日)

厄年・年祝いのご案内

厄年のお祝いや還暦・古稀などの年祝いを迎えられた方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

平成29年(丁酉) 厄年・年祝い一覧

生まれた年	えと	男性	女性	年齢(かぞえ)
大正 8 年生	未 (ひつじ)	白 寿 (はくじゅ)		99歳
昭和 3 年生	辰 (たつ)	卒 寿 (そつじゅ)		90歳
昭和 5 年生	午 (うま)	米 寿 (べいじゅ)		88歳
昭和13年生	寅 (とら)	傘 寿 (さんじゅ)		80歳
昭和16年生	巳 (へび)	喜 寿 (きじゅ)		77歳
昭和23年生	子 (ねずみ)	古 稀 (こ き)		70歳
昭和31年生	申 (さる)	後 厄		62歳
昭和32年生	酉 (とり)	還 暦 (かんれき 大厄)		61歳
昭和33年生	戌 (いぬ)	前 厄		60歳
昭和50年生	卯 (うさぎ)	後 厄		43歳
昭和51年生	辰 (たつ)	大 厄	厄	42歳
昭和52年生	巳 (へび)	前 厄		41歳
昭和55年生	申 (さる)		後 厄	38歳
昭和56年生	酉 (とり)	厄	大 厄	37歳
昭和57年生	戌 (いぬ)		前 厄	36歳
昭和59年生	子 (ねずみ)		後 厄	34歳
昭和60年生	丑 (うし)	厄	大 厄	33歳
昭和61年生	寅 (とら)		前 厄	32歳
平成 4 年生	申 (さる)	後 厄		26歳
平成 5 年生	酉 (とり)	大 厄	厄	25歳
平成 6 年生	戌 (いぬ)	前 厄		24歳
平成 9 年生	丑 (うし)	成 人		満20歳
平成10年生	寅 (とら)		後 厄	20歳
平成11年生	卯 (うさぎ)	厄	大 厄	19歳
平成12年生	辰 (たつ)		前 厄	18歳
平成17年生	酉 (とり)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず
新年を迎えると一つ年をとります。



どんど祭

1月29日
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、また古い神札・お守りなどをお焚き上げいたします。当日ご都合の悪い方は、事前に所定の位置にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は 10 月の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

平成29年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(日)	午前零時	歳旦祭	国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(火)	神事 午前6時	梵天祭	力の神である《三吉霊神》にあやかろうと威勢良く先陣を争い梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事(8頁参照)
	奉納 午前10時~正午		
1月29日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札、お守、縁起物をお焚上げいたします(6頁参照)
2月3日(金)	午前10時	節分祭	福豆をまき供え、除災招福を祈ります
2月11日(土)	午前9時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、日本の繁栄と世界平和を祈念いたします
5月7日(日)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡や家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(月)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月30日(金)	午後3時	夏越の大祓	上半期の節目に当たり、自分の罪けがれを祓い清めます

師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを、形代(かたしろ)に託して祓い清め、心身ともに清々しく新年を迎えるための節目の神事でございます。
ご多忙の折とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

一、日時 平成二十八年十二月三十一日(土)
午後二時
一、於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。

※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



秋田市赤沼

三吉 梵天祭

ぼんでん

平成29年
1月17日(火曜)

人に押し負け大きらい

厳寒の一月、雪国の静寂を打ち破って

藤田嗣治『秋田の行事』にも描かれた

秋田の冬の風物詩「ぼんでん」が行われる。

力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の

例祭に奉納される梵天は八十本余り。

意匠をこらした梵天は、数十人の男たちを従え

雪の町を練った後、神社に集結する。

「人に押し負け大きらい」「三吉節も高らかに、

法螺貝と「ジョヤサ」の掛け声が

勇ましく轟くなか、万を越す観衆の前へ。

十余りの梵天が踊り乱れ、

男たちは波よって激しくもみ合う。

一年の幸を願う熱い祭は、今年も一足早い春を呼ぶ。



村梵天奉納町内のご紹介①



先陣を切る!!
赤沼町内各の梵天奉納は、毎年この決意も新たに梵天奉納に勝
けてしり、現実には年に一回はカゴこしたり、芯の棒を
折つたりと、競争の先陣争いの姿はまぎれずあります。
太平山三吉神社のおひざの赤沼としては、最も合いの
遊んでみるの姿も、前夜祭の町内各の奉納が、
から太平山に詣り、先陣争いの姿も、
から太平山に詣り、先陣争いの姿も、

【赤沼町内各】

